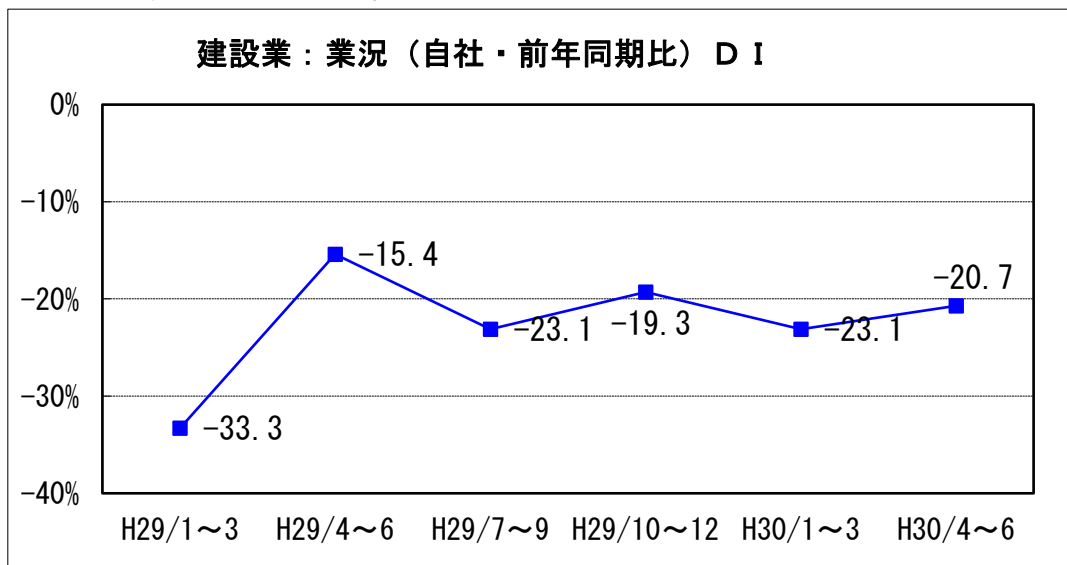


### 3. 建設業の動向

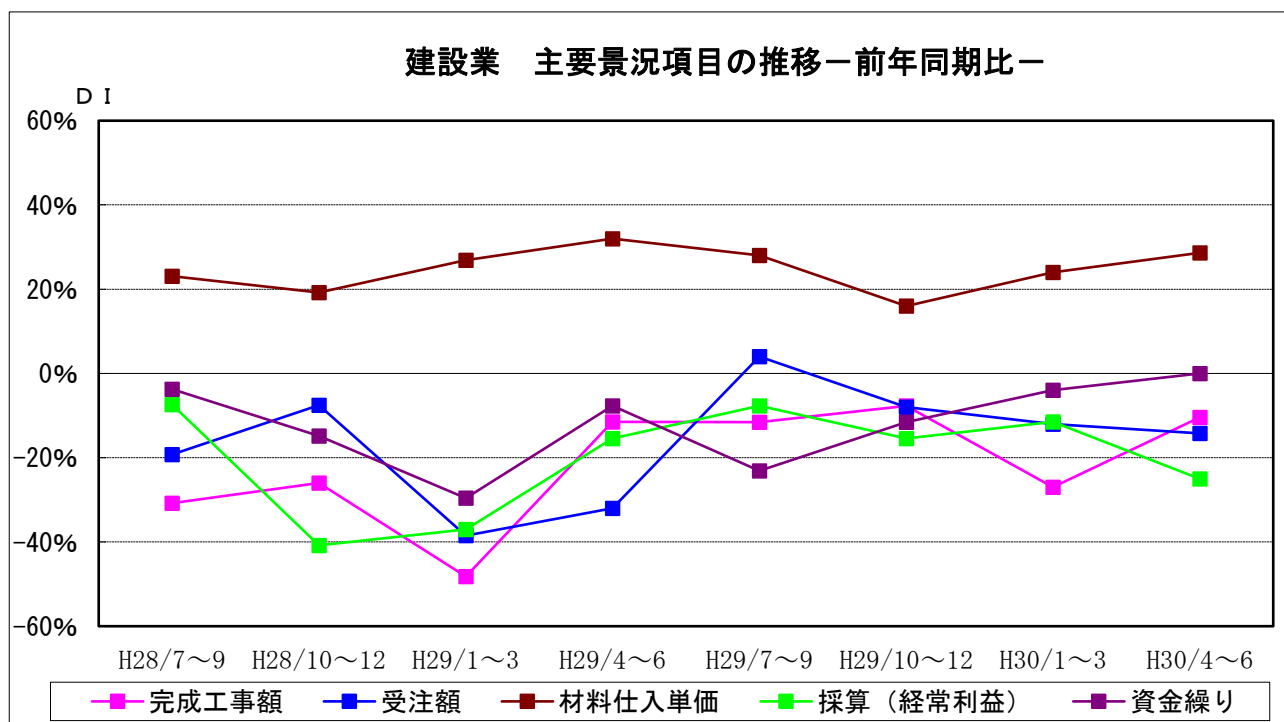
#### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は▲20.7。前期の▲23.1から2.4ポイントの上昇となった。来期見通しは、▲3.4と改善が見込まれる。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

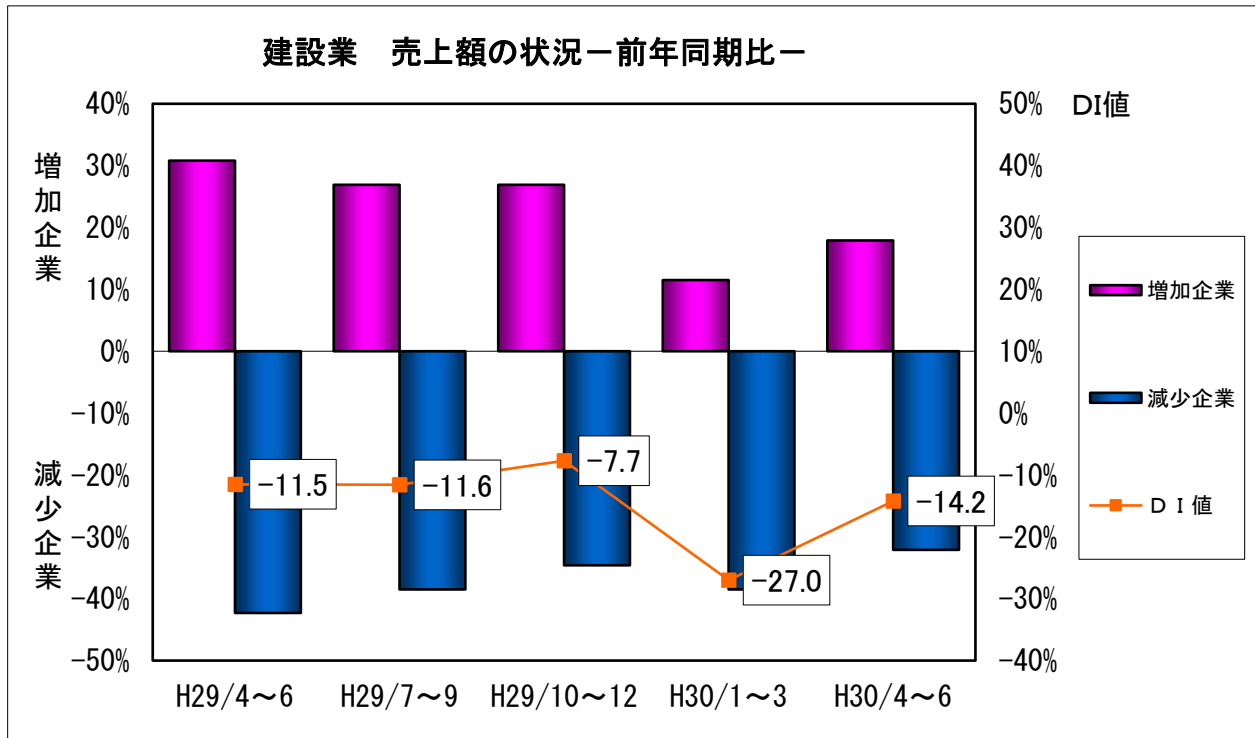
	前々期 (29年10月~12月)	前期(A) (30年1月~3月)	今期(B) (30年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲7.7	▲27.0	▲10.4	16.6	▲17.3
受注額	▲8.0	▲12.0	▲14.2	▲2.2	▲10.7
材料仕入単価	16.0	24.0	28.6	4.6	35.7
採算(経常利益)	▲15.4	▲11.5	▲25.0	▲13.5	▲14.3
資金繰り	▲11.6	▲4.0	0.0	4.0	▲13.8



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

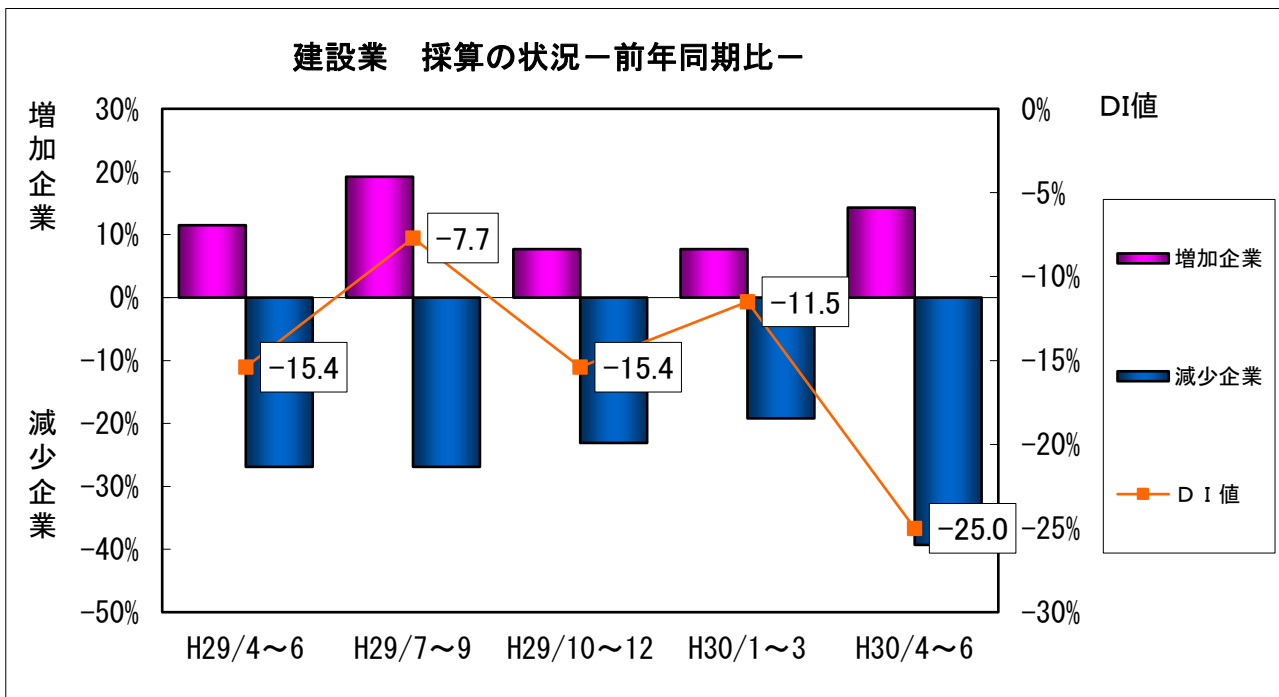
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額D I値は▲14.2。前期の▲27.0から12.8ポイントと改善した。来期見通しは▲10.7とやや上昇の見込み。



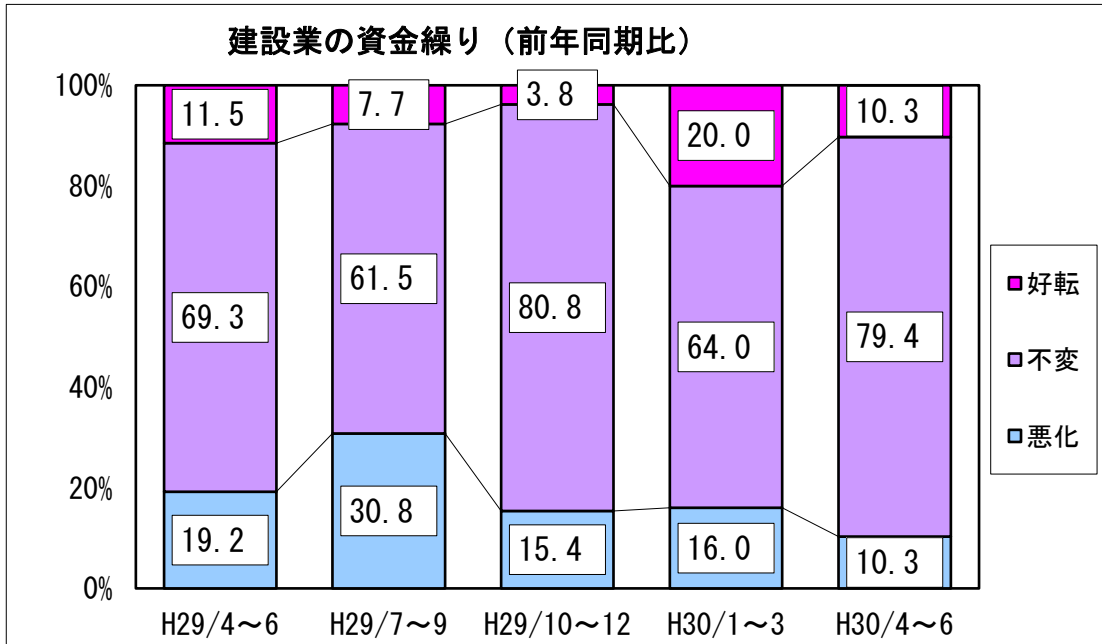
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I値は、▲25.0。前期の▲11.5から13.5ポイントの下落となった。来期見通しは、▲14.3とやや持ち直す見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は0.0。前期の4.0から4.0ポイントと下降した。来期見通しは、▲3.4とさらに下降が予想される。

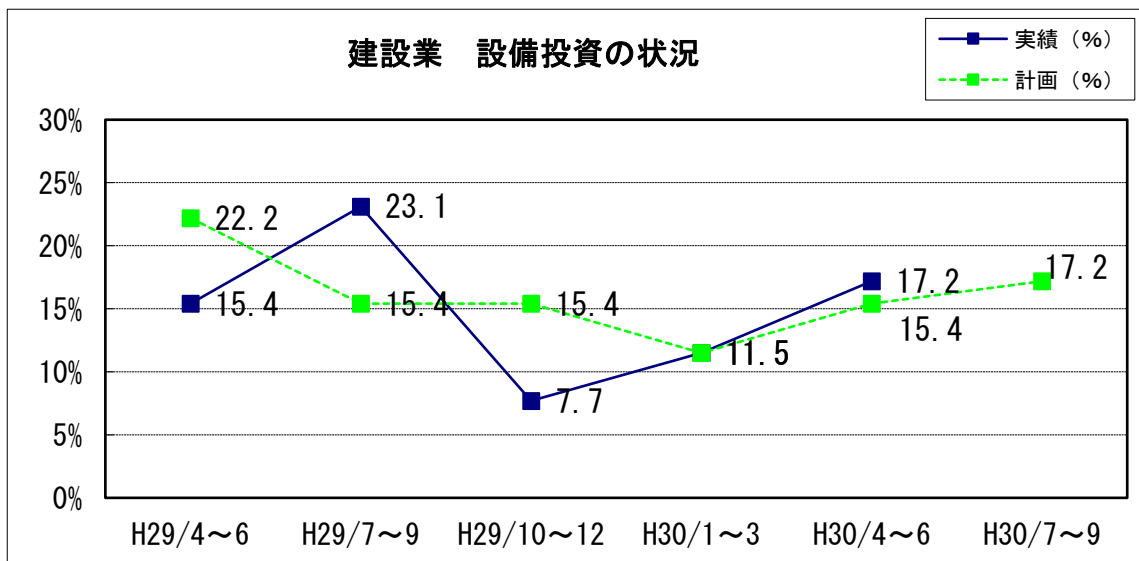


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	1	1	0	2	0	0	23
(%)	11.5	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	88.5
今期実施 (実数)	5	0	0	2	1	0	0	0	2	24
(%)	17.2	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	82.8
来期計画 (実数)	5	0	0	1	1	1	0	0	2	24
(%)	17.2	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	82.8

今期設備投資を実施した企業は5社（17.2%）。前期（平成30年1～3月期）の実施企業3社（11.5%）よりわずかに増加。来期も5社（17.2%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあがる項目は、

- ・ 「従業員の確保難」 (前期 33.3%→今期 37.5%)
- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 28.6%→今期 33.3%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 23.8%→今期 25.0%)
- ・ 「材料費・人件費以外の経費の増加」 (前期 14.3%→今期 20.8%)

となっている。

